

こんな結果が出ています！〈平成29年度学力学習状況調査「保護者に対する調査」の分析結果より〉

★ 家庭環境（保護者の児童への働きかけや保護者自身の意識や行動）と子どもの学力について、以下の場合に子どもの学力が高い傾向にある。

【保護者の働きかけ】

- 学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や進路、地域や社会の出来事やニュース等、会話が深い。
- テレビ、ビデオ、DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている。
- 子どもに努力することの大切さを伝えている。
- 子どもに最後までやり抜くこと大切さを伝えている。

【保護者の教育意識や諸活動への参加】

- 将来、子どもに留学してほしいと思っている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。
- 保護者自身がPTA活動や保護者会などへ参加している。

★ 保護者の適切な働きかけは、社会経済的背景に関わらず、子どもの「非認知スキル（自制心や意欲、忍耐力など）」を高める傾向にあり、「非認知スキル」は子どもの学力とゆるやかな相関がある。このことから、「非認知スキル」を高めることができれば、学力を一定程度押し上げる可能性がある。

【「非認知スキル」を向上させる保護者の働きかけ】

- 子どものよいところをほめるなどして、自信をもたせるようにしている。
- 子どもに努力すること大切さを伝えている。
- 子どもに最後までやり抜くこと大切さを伝えている。
- 毎日、子どもに朝食を食べさせている。
- 地域社会などでのボランティア活動等に参加するよう子どもに促している。

ご家庭での指導の参考に！



上記のように、家庭環境が児童の学力に影響を与えているという分析結果が出ました。いくつあてはまるか（実行しているか）チェックしてみてください。「勉強しなさい！」だけでなく、親として心がけるといいことがあるようです。

ヒトは水に浮きます！ 〈着衣水泳（5・6年） 7/6〉

毎年実施している着衣水泳を今年度は赤十字のプログラムを使って行いました。この日はあいにくの雨天でしたので、残念ながらプールでの実習はできませんでしたが、講師の先生から体を浮かせるコツや身の回りのものを使った浮き方の説明を聞きました。今回できなかったペットボトルを使って水に浮く体験は、通常の授業で行いたいと思います。



7月21日（土）に海南子どもの国で赤十字主催の「パパママちゃれんじ教室」（水難救助、心肺蘇生、AEDの使い方の実技講習）が開催されます。〈詳細は市広報7月号を〉

